

**問** 南風原町青年連合会には6団体が加盟し、未加盟4団体である。絶対的に青年会の数が少ない。また数年この現状は変わっていない。現状認識はどうか。

**教育部長** 19自治会からすると少ないと認識している。各自治会で青年会を結成し、盛り上げてほしいと思う。

**問** 一括交付金で伝統芸能の備品補助や団体補助を創り出した。例えばそういった補助を連合会を通して丁寧に斡旋したりできないか。また、役場の採用では正職員だけではなく臨時、嘱託職員の採用に青年会活動をしている人を積極的に登用してはどうか。南青連に加盟するメリットを協力して生み出せないか。

**教育部長** 青年会を盛り上げるためにはそのようなかたちでの意義は大いにあると感じている。

# 全ての自治会に青年会結成を

答 19自治会からすると少ないと認識している



照屋 仁士 議員



青年エイサー

**問** 社会教育団体の実態を掴むためには青年会組織が主催する事業や研修等に、担当職員や社会教育委員と一緒に参加する事も必要ではないか。生涯学習文化課長 青年会から依頼があれば参加していきたい。

**問** 担当職員・社会教育委員の職務内容や待遇について、

- ① 青年会支援に絞る
- ② 他の業務を減らす
- ③ 担当を増やすもしくは協力者を増やす
- ④ 委員を増やす、若い委員やOB等も含め加える

そのような検討ができないか。

**教育部長** バランスを考えていきたい。

**問** 教育行政のあり方について人的・予算的にも学校教育と社会教育の扱いがあまりにも差がある。

社会教育の支援育成は最も重要と考え提案をしている。今後の自治会加入率とも必ず連動する。予防的措置も含めて今後十分検討する必要があるのではないか。

**教育部長** そのように対処していく。

こんな質問もしました

・ボランティアや目的別団体の支援を